



第3章 時津町が目指す教育

第3章 時津町が目指す教育

I 基本理念

「夢や志をいただき、ふるさと時津を拓く人づくり」をめざして

変化の激しい現代社会を生き抜くためには、知・徳・体の調和がとれ、夢や志、目標を持って自己実現を目指し、主体性をもってたくましく生き抜く自立した人間を育成することが重要です。また、人の成長過程においては、家庭や地域社会における教育の役割は大切です。

人と人とのつながりや学校・家庭・地域のつながりの輪を広げ、一体となって、ともに生きることの素晴らしさ、尊さを享受し、生きる喜びや町民どうしの絆を育むことも重要です。家族の愛情に包まれ、地域で多くの人との関わりや活動などを経験することで、家族への愛情や郷土への愛着が育まれ、豊かな人間性が育っていきます。

そのために、家庭や地域など町をあげて、ともに学び合い、支え合う教育風土を醸成し、自己成長の原点であるふるさと時津を愛し、ふるさと時津の発展を志向する人材や創造力・国際性を備えた人材を育みます。そして、自ら直面する困難な課題に対して、主体性を持ってたくましく切り拓いていく人材を育成し、「誰もが“住みたい”“住み続けたい”町へ」の実現を目指します。

II 基本目標

① 子ども一人一人を尊重し、子どもが自ら未来を切り拓く力を育む教育を推進します。

変化の激しい予測困難な未来社会を切り拓き、生き抜くために、主体的に学び続ける力・豊かな人間性・健やかな体をバランスよく育むとともに、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて一人一人の多様な才能や能力を生かす教育を推進します。また、多様な価値観を持つ人々と信頼関係を築き、世界で活躍する人材や社会の形成に主体的に参画する人材を育成するため、理解し合い協働する姿勢やコミュニケーション能力の向上を目指します。

子どもたちの発達段階に応じた心の教育を推進し、ふるさと時津への愛着と誇りを涵養します。併せて、人権意識を醸成し、差別や偏見のない社会を創造するため、平和の大切さを広め、国際交流や異文化を理解するための取組を行います。

② 学校、家庭、地域が連携・協働し、安心できる教育環境の充実を図ります。

学校をはじめ、家庭、地域、団体、事業所等、様々な主体との交流は、子どもの豊かな経験につながります。関係団体や機関が子どもの育ちを支えるために、何かできるかを考え、実践することが重要です。10年後20年後の未来を担う子供たちが豊かな創造力を持ち、主体的に行動できるようになるために、今大人は何をすべきかを考え、実践しながら、子どもとともに大人自身も成長する町を目指していきます。また、家庭での教育を支えるために、保護者の学びの機会を充実させるとともに、家庭教育支援の輪が地域に広がるように取り組みます。

一人一人のニーズにあった教育を推進し、誰一人取り残さない学びの保障に努めるとともに、誰もが安全に安心して学校に通える環境を整備します。いじめの防止についても、町、教育委員会、学校、家庭、地域が一体となって、「いじめは起こりうるもの」として捉え、「いじめを絶対に許さない、見逃さない。」という意識の下、いじめ根絶に取り組みます。

③ 誰もが生涯にわたり、いつでも、主体的に学び、活躍できる生涯学習社会の実現を推進します。

子どもから高齢者まで一人一人が自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通じて地域への愛着を育み、家庭や地域とともに支え合い、つながりあう地域社会の実現に向けた取組を推進します。また、町民のスポーツ・文化・芸術への関心を高め、スポーツを通じた地域間の交流や活性化に努めるなど、スポーツ・レクリエーションの機会の充実や指導者及び団体の育成・支援をおこなうとともに、歴史文化財の保護や地域文化の振興に取り組みます。